

平成 25 年度 事業報告書

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

社会福祉法人 豊生会
三恵保育園

平成25年度 三恵保育園事業報告書

1 保育園の運営

(1)定員 170名

(2)年齢別・月別入所児童数(各月初日現在)

年齢 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳 児	3	4	7	7	8	10	10	11	11	11	10	10	102
1～2歳児	49	50	49	50	50	50	50	50	50	50	49	49	596
3 歳 児	35	36	36	35	36	36	36	36	36	36	36	36	430
4歳以上児	76	78	79	77	78	77	78	77	77	77	75	76	925
計	163	168	171	169	172	173	174	174	174	174	170	171	2053

(3)職員数 平成25年度初 29名 平成25年度末 30名

(4)職員の異動

- ①採用 2名
- ②退職 4名
- ③休業 2名(産休・育休)

(5)職員会議等の開催状況

毎月2回開催し、保育当番以外の正規の職員が参加した。臨時職員においては、昼休みに行なわれる2回目の会議に保育の支障のない範囲で参加した。

子どもが安心して楽しめる環境づくりを目指し、各クラスの様子や保育の確認、行事等の打ち合わせを行ない、必要に応じて反省会を開き今後の課題として話し合った。

また、2ヶ月に1度給食会議を開き、給食室内部の不具合等を話し合い、より作業しやすい環境づくりに努めたり、残飯の量で子どもたちの食べ具合を確認したり、職員の意見を聞き、よりよい献立作りに努力した。アレルギー児においてはその子どもの経過を話し合った。

職員会議、給食会議の内容は、議事録として記録した後、回覧によって出席できなかった職員にも正確に伝わるようにした。

2 保育の実施状況

(1)保育・運営理念

- *子どもたちが「今日も来てよかった。明日も来たいな」と思える保育園
- *保護者が安心して子どもをあずけ、働ける保育園
- *地域から「あって良かった」と感じ、言ってもらえる保育園

(2) 保育目標

- *温かな雰囲気の中で、互いの命を大切にできる安定した情緒を育てる。
- *様々な体験を通して、健康をはぐくみ、興味関心をもち、言葉や創造力を育てる。
- *高齢者や友達との関わりを通し道徳性の芽生えを培い、豊かな人間性を育てる。

(3) 保育時間

午前7時30分～午後7時00分

(延長保育時間 午後6時30分～午後7時00分)

(4) 保育内容

- ◎保育目標に基づき、子どもの情緒が安定した生活ができるような環境に配慮し、またひとりひとりが自己を十分発揮して、積極的に活動できるようにした。
- ◎基本的な生活習慣や集団生活に必要なルールを遊びの中で身につけさせていった。
- ◎マーチング・体育教室を通して、機敏な動作、正しい姿勢や責任感を身につけさせた。また、目標に向かって協力し合い、個々の役割を果たすことで達成感を味わい、クラスとしてのつながりを深めていった。
- ◎法人内の老人施設との交流において、老人に対するいたわりの心や親切、感謝などの気持ちを持たせていった。
- ◎食育の一環として、年長児を中心にじゃが芋、さつま芋苗などを育て、収穫した野菜は、昼食やおやつとして調理したものを食べたり、年長児に持ち帰らせたりして食物への関心を深めていった。
また、生方用務員の栽培によるキャベツ、ブロッコリー、かき菜などの野菜も昼食材料として収穫された。
- ◎行事は、年間行事予定に従い行われた。発表会と保護者会主催のクリスマス会を別日に設けたり、運動会と発表会には、総練習日を祖父母観覧日(長寿荘・アミカル入居者観覧)としたことで、混雑を避けられたとともに、それぞれがゆっくと楽しむことができた。
- ◎遠足に参加しない未満児は、豊生会のマイクロバスをお借りして園外保育に出かけ、自然に触れることにより豊かな心を育てるようにした。
- ◎特別支援児童への対応
発達に心配のある児童については、クラス担任がその子どもの様子を把握した上で、高崎市で行なわれる発達巡回相談を利用して相談し、昨年に続いて臨床発達心理士である久保園敏明先生と発達支援センター職員と共に園児の様子を観察し助言をいただいた。
また、保護者とも懇談する場を設け、家庭と保育園が一体となって園児の対応にあたっていけるよう配慮した。

(5) 外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導日
鼓笛指導	稲垣摩美	毎月1回(年長・年中)
体育指導	堤 綾乃	毎週水曜日(年長)・隔週水曜日(年中)
英語指導	アレックス・フォン・アルテンシュタット	毎週金曜日(年長)

(6) 実施した特別保育事業名

- ◎延長保育促進事業
- ◎保育所地域活動事業 世代間交流等事業

3 給食の実施状況

0～2歳児 完全給食に加え、10時と15時のおやつを実施

乳児については、家庭での離乳食の進行状況にあわせて進めた。

3～5歳児 完全給食に加え、15時のおやつを実施

◎アレルギー体質の子どもには、事前に家庭からアレルギー除去食を知らせてもらって対応した。

◎3時のおやつには、工夫を凝らした手作りのものを多く取り入れた。市販のものを利用する場合は、無添加のものを与えた。

◎年齢による咀嚼力の差を考慮しながら、あごの筋肉を鍛えるため噛み応えのあるものを提供した。

◎味付けは化学調味料を使用せず、素材の味・風味をいかした薄味にした。

◎入口付近にその日の献立を展示して、保護者にもわかりやすく伝えた。降園時には、親子で楽しそうに話している様子が見られた。

◎食前食後の挨拶をし、感謝をしていただくという気持ちをもたせ、みんなで食べる楽しさや行儀面の意識を高めた。

◎保育参観では、4・5歳児の保護者に試食をしてもらったり、人気のあるメニューのレシピを作成したりして、保護者にも給食に関心を持ってもらった。

◎園で収穫した野菜(玉葱、さつまい、じゃが芋、かき葉、油菜、キャベツ、ブロッコリー、トマト)は、毎月1回～2回の放射性物質検査を実施した。検査結果についてはいずれも不検出。

4 健康管理の実施状況

(1) 児童

①内科健診

年2回(6月19日・11月28日)園嘱託医による健康診断を実施。健診当日に欠席した児童は後日受診し、全園児の健康管理に努めた。

②歯科検診

年1回(6月25日)園嘱託医による健康診断を実施。検診当日に欠席した児童は後日受

診し、全園児の健康管理に努めた。

- ③年1回(6月7日提出)、全園児及び全職員がぎょう虫検査を実施。全員異常なし。
- ④毎月身体測定を行い、計測値はおはようブックの身長体重測定表に記入。
- ⑤1月にインフルエンザが流行し、初発から10名になった時点で保健所と市役所に報告。
発生したクラスには、体温記録表を配布し、家庭との連携をとり園児の体調把握に努めた。
- ⑥市から配布される「ほけんだより」を配布・掲示して、健康管理や感染症などの注意を促した。

(2)職員

①定期健康診断

日高病院にて、職員が健康診断を7月～8月に実施。

(一般健診対象者が7名、政管生活習慣病予防健診対象者が18名)

②検便

月に1～2回(季節による)、高崎・地域医療センターに依頼し、「赤痢菌・サルモネラ菌・病原性大腸菌(O-157)」の検査を、給食職員・0歳児担当職員及び緊急時にサポート出来るよう主任保育士と主任事務員が交互に実施。全員異常なし。

③予防接種

ひぐち内科クリニックに依頼して、11月に全職員がインフルエンザ予防接種を受けた。

(3)その他

群馬県健康づくり財団に7/17と12/2に給食の検体を持参し、「大腸菌群」の検査を実施。いずれも異常なし。

5 非常災害危機防止等防災訓練の実施状況

(1)避難訓練

*月1回避難訓練を行い、火災・地震等の災害を想定し、その状況に応じた誘導や避難することの重要性を指導。3歳児については、10月から避難スロープを使用し、2階からの避難訓練を実施した。

*高崎市の補助金により、全園児分の防災頭巾を購入し、訓練の際には防災頭巾を装着して避難した。

*2月28日には、不審者侵入を想定した訓練を行なった。

*3月11日には北消防署員立会いのもと通報・消火・避難訓練を長寿荘・アミカルと共に実施。職員に対して実際に訓練用水消火器を使つての訓練も行い、避難時や誘導時また消火の際の留意点を再確認することが出来た。

(2)交通安全

高崎市交通地域安全課よる「幼児安全教室」が行われ、交通ルールに関しての指導を受けた。7月30日には、園内ホールにて4・5歳児を対象に交通安全について興味を持たせ、ルールを守ることの大切さの指導を受けた。

2月25日の交通公園での交通安全教室では、保護者会役員4名を含む年長児37名が、交通の決まりに従った歩行練習などの指導を受けた。

6 研修

◎職員の外部研修会への参加状況

5・8	幼保小連絡協議会総会・講演会「今幼保小連携に求められていること」	山崎
11	市保育士分科会総会・寄席	楡井
14	西毛連絡協議会定期総会・講演会「就職実習に関連した保育科学生の特徴」	山崎
20	コーディネーター研修会「明日から使える理論と技法」	佐藤
29	新任職員研修会「保育士としてのマナー」	松田
6・10	コーディネーター研修会「気になる子どもの見方・捉え方」	佐藤
11	プール管理講習会	土屋
27	救急法講習会	松田
28	コーディネーター研修会「保護者支援を考える」	佐藤
7・2～3	夏期保育士研修会 視察「うちゅう保育園やまて」及び TDL	小池
7・11～12	関東ブロック保育研究大会「保育者の資質向上を図る」	田中
8・5～7	音研宿泊講習会	小野里
7	衛生管理及び食育研修会「食中毒を防止するためには」	松田
24	実技講習会「健康で豊かな暮らしのために」	金
27	理事長園長研修会「高崎市の保育をとりまく状況について」	山崎
9・6	中堅保育士研修会「保護者支援」「気になる子への対応」	金
11・2	西毛保育連絡会講演会「これからの保育のすがた」	阿部
7～8	県外視察研修会「ゆりかご幼稚園」「劇団四季公演」	楡井
14～15	運営研修会「発達障害の理解と支援」「子どもの育ちを保障する」	山崎
18	コーディネータースキルアップ研修会「子どもの見方」「役割」	佐藤
19	児童虐待防止セミナー「女性と子どもの人権を守るために」	小池
12・2	主任保育士研修会「保育スーパービジョン」	浅川
9	コーディネータースキルアップ研修会「運動遊びで発達を促す」	佐藤
1・15	コーディネータースキルアップ研修会「ことばでみる子どもの育ち」	佐藤
16	会計研修会「新会計基準について」	田中
21	男性保育士研修会「明日からすぐに使える保育技術」	柳澤
21	給食研修会「視察 合羽橋及び東京スカイツリー」	松田
22	群馬県保育研究大会「配慮を必要とする子どもや家庭への支援」	浅川
2・5	保育士分科会支部研修会「保育に生かす楽しい表現遊び」	山田
7	保育士研修会「保育における話し方と書き方について」	阿部
12	管理者研修会「施設経営者に求められる今日的課題」	山崎
21	幼児問題協議会教育講演会「愛着障がいをもつ子どもへの支援」	金

3・4	給食従事者研修会「栄養管理報告書のまとめ」	松田
23～25	音研宿泊研修会	阿部

7 保育実習生、中学生職場体験等の受け入れ状況

(1) 保育実習生

期 間	学 校 名	氏 名
25・6・17～7・2	群馬社会福祉大学	須田有良
7・22～8・6	東京福祉大学	千葉圭佑・清水菜美
8・5～8・24	越谷保育専門学校	宮崎知樹
8・19～8・31	高崎健康福祉大学	佐藤仁美
8・19～9・2	育英短期大学	樺沢春花
8・26～9・9	育英短期大学	齋藤美里
9・3～9・19	群馬医療福祉大学	斉藤由衣・嶋田春香
26・2・3～2・19	高崎健康福祉大学	佐藤仁美
2・10～2・25	育英短期大学	長井文香
2・17～3・1	群馬医療福祉大学	霜柿亜希

(2) 職場体験学習

期 間	学校名・学年	備 考
25・5・20～5・24	中尾中学校2年生	5名
24・9・10～9・12	県立中央中等教育学校3年	1名
25・11・11～11・15	塚沢中学校2年生	1名

(3) ボランティア

25・4・1～水曜日 16:30～18:00	群馬医療福祉大学	斉藤由衣・嶋田春香
8・6～9・9 火、金曜日15:00～18:30	育英短期大学	長井文香
8・19～8・23 8:30～17:00	高崎健康福祉大学	佐藤仁美
25・11・9～3・31 土曜8:30～15:00	群馬医療福祉大学	岡崎鈴香

8 その他

*25年度に実施した主な改修

- ・カーテンの取替
- ・1歳児プールの購入
- ・沐浴室ガス給湯器及び空調機室外機の修理
- ・遊戯室照明の水銀ランプ及び分電盤 NT 端子交換
- ・砂場の乾熱殺菌殺虫処理作業

等

*苦情処理受付状況…0件

*アンケート調査

行事終了後、アンケートを配布し回収・集計の結果、保護者の様々な意見を聞くことができた。アンケート結果については保護者にも周知した。

*8月11日、園庭で起こったダウンバーストでプールが吹き飛ばされたことにより、門扉及び水道の蛇口が破損する等の被害があった。

*観測史上最高の積雪となった2月15日(土)は、登園できる園児がいなかったため閉園とし、食材入荷の困難により18日(火)、19日(水)はお弁当持参、また帰宅時の安全を考え閉園時間を早くし、保護者に協力を呼びかけた。

・出席園児…17日(月) 58名(17時閉園)

18日(火) 97名(18時閉園)

19日(水) 131名(18時閉園)